

大嶋 義実 (おおしま よしみ)

プラハ放送交響楽団首席フルート奏者、群馬交響楽団第一フルート奏者を経て、現在京都市立芸術大学教授、音楽学部長。

1981年京都市立芸術大学卒業後、1984年ウィーン国立音楽大学を最優秀を得て卒業。

日本音楽コンクール入選、マリア・カナルス国際コンクール名誉ディプロム、日本管打楽器コンクール入賞。平成10年度京都市芸術新人賞受賞。

ソリストとして国内はもとよりロンドン、ウィーン、プラハ、フィレンツェ、ローマ等、毎年公演を行うほか、プラハ交響楽団、ヤナーチェクフィルハーモニー管弦楽団、ヴィルトゥオージ・ディ・プラハ、ピルゼン放送交響楽団、ポーランド・オポレフィルハーモニー、群馬交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等、数多くのオーケストラと協演。1994年、95年にはスロヴァキア室内合奏団のソリストとして東京芸術劇場、紀尾井ホール、大阪ザ・シンフォニーホールをメインに日本ツアーに同行。95年同プログラムでスロヴァキア各地の国際音楽祭に出演。1997年スーク室内オーケストラのソリストとして日本ツアーに同行、ヨゼフ・スークと共演。1998年には日本人フルーティストとして初めて『プラハの春国際音楽祭』より招待を受け好評を博す。1999、2000、2004年 FOK (プラハ交響楽団) 定期演奏会(室内楽シリーズ) 出演、2000年もベルギー、ドイツ、チェコ、イタリア、ポーランドと五カ国10都市以上にわたる公演を行う。2001年チェコフィル定期演奏会(室内楽シリーズ)、第36回「モラヴィアの秋国際音楽祭」に出演。室内楽の分野でも師のW.シュルツをはじめ、ウィーンフィルやチェコフィル、ベルリン・ドイツオペラの首席奏者達、ブラジャーク弦楽四重奏団、コチアン弦楽四重奏団、クーベリック・トリオ等と共演を重ね、その演奏はNHK「芸術劇場」をはじめ各国のテレビ、ラジオで度々放送されている。ドイツ・コブレンツ国際音楽週間、草津国際フェスティバル&アカデミー、イタリア・サルツォ音楽院、アオスタ音楽院、ローマ国際アカデミー、プラハ・サマーアカデミー、アメリカ・セントメリーカレッジで等のマスタークラス受け持つほか、相愛大学、大阪音楽大学でも後進の指導にあっている。ミラノ・ファラウトコンクール、びわこ国際フルートコンクール、全日本学生音楽コンクール、全日本吹奏楽コンクールをはじめ各地のコンクールの審査員も務める。13枚のCDをリリース。日本フルート協会理事、アジア・フルート連盟常任理事。

河野 美砂子 (こうのみさこ)

京都市生まれ。京都市立堀川高校音楽科、京都市立芸術大学卒業。芸大卒業後、井上直幸氏に師事。

82年～83年、ロスアンジェルスにてJ.ペリー氏に師事。その後渡欧、83年～84年ウィーン国立音楽学校のE.ウエルム教授の歌曲伴奏のクラスに通う一方、フライブルクのピヒト＝アクセンフェルト女史のもとでさらに学ぶ。85年帰国後、ソロリサイタルシリーズ(シューベルトとシェーンベルク)を五年間にわたり開催、95年および96年には、そのまとめとして二晩にわたる連続リサイタルを、京都、大阪、東京にて開催した。

室内楽の分野では、P.カルミレリ氏(元イ・ムジチ合奏団首席ヴァイオリン奏者)を始めとする内外のソリストとの共演の他、ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全10曲、同チェロソナタおよび変奏曲全8曲、同ピアノトリオ全曲演奏会【ベートーヴェンとの対話】をシリーズで企画演奏した。その他オーケストラとの共演、通奏低音(チェンバロ)等。また、フォルテピアノによるシューベルトの室内楽演奏会等を開催した。88年淡路島国際室内楽コンクール優秀賞。06年、ソロリサイタル【モーツァルトに会いたい】を京都芸術センター講堂にて開催、従来とは違った形の音楽会が反響をよび、シリーズ継続が決定。詩人の谷川俊太郎氏の朗読との共演など、09年まで全6回の演奏会を開催した。目下、上野真氏とともに【2台のピアノによるモーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会】シリーズを継続中。

97年より02年まで大阪音楽大学大学院(室内楽)非常勤講師、2000年より04年まで京都大学医療技術短期大学部(芸術学)非常勤講師、95年より現在まで京都市立芸術大学音楽学部(ピアノ)非常勤講師。

また短歌にも興味を持ち、92年塔短歌会に入会。95年第41回角川短歌賞。04年、第一歌集『無言歌』(砂子屋書房)により第5回現代短歌新人賞受賞。

アトリエ ワム 〒603-8227 京都市北区紫野北舟岡町41

【千本北大路】、または【千本鞍馬口】から徒歩4分。

千本通りから、東に入って4軒目です。

せんぼん

●「千本北大路」、「千本鞍馬口」までの経路

◎ JR 京都駅より、地下鉄「北大路」駅下車(約13分)。

「北大路」駅の、市バス【青のりま】より乗車

([北1]と[37]を除く、すべてのバスに乗車OK)。

「千本北大路」まで約10分。

または、地下鉄「北大路」駅 ⑥番出口より、タクシーで2メートル。

◎ 阪急「大宮」駅下車。

市バス「四条大宮」停留所(北行き・「王将一号店」前)より

[6][46][206]にて、「千本鞍馬口」まで約20分。

